

白砂青松

はく しゃ せい しょう

平成30年1月10日 第10号

敦賀市立松原小学校

新しい年を迎えて……



新年、明けましておめでとうございます。

2018年の始まりです。今年は「戌年」です。

「一年の計は元旦にあり」とよく言われます。実は、その言葉の前に「一日（いちじつ）の計は朝にあり」という言葉があるそうです。

これは、「計画を立てないのは、失敗する計画を立てるのと同じである。新年にあたって、目標を持ち、計画を立てる」ことの大切さを唱えています。

さて、みなさんは、新年を迎えてどんな目標や計画を立てますか。

「どうせ、目標を立てても、計画を立てても長続きしないし…」と、思っていないませんか。

それよりは、①長い目標と短い目標を持つ、②誰かに宣言する、あるいは誰かと一緒に目標に向かう、③三日坊主でも、途中でさぼっても、また始めれば良いと思う、ことが大切なのです。

もくひょう

「一年の計は元旦にあり」

さあ、2018年の始まりです。



【敦賀市『知・徳・体』充実プラン】

学習指導要領の改訂に伴って、高校入試制度や大学入試制度が変わります。例えば、高校入試。英語検定3級以上を取得していると「5点」の加点があります。インフルエンザなどで試験当日に受験できない時は、追試験がある、定時制の二次募集はなくなるなど、変更点があります。まだまだ先のことではなく、自分の子どもが受験するときは、どんな高校入試制度なのかを知っておくことも大切です。

【子どもと一緒に将来の夢を…！？】

7年前にアメリカの研究者が「今の子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在しない職業に就く。」という予測を発表し、話題になりました。人工知能（AI）も話題になっています。ある教育関連会社の調査から「親とよく話す子どもほど、なりたい職業を持っている」「親が子どもと将来や進路について話をするのは、子どもが自分の将来の目標やイメージを描く手助けになっている」というものです。

子どもがなりたい職業にあこがれたり興味を持ったりすることで、関心はどんどん広がります。

新しい年を迎えました。子どもの夢と一緒に楽しく聴いてみてはどうでしょうか。

[1 2 月の足跡]

1日…4年生は、こどもの国のプラネタリウムに行きました。冬の星座を中心に、夜空に輝く星について勉強をしました。何気なく見上げていた空にも興味がわきました。

7日…5年生は、「ふれあい文化スクール」ということで、ハーモニーホールふくいへ行きました。オーケストラの演奏を聴きました。弦楽器や管楽器、打楽器の音色が合わさった素晴らしい迫力ある演奏に子どもたちも感動したようです。

8日…体育委員会が、大縄跳びなど、いろいろな跳び方について発表しました。さすが、代表だけあって、模範になる演技ばかりでした。



12・13日…5年生は、県学力調査（SASA）に取り組みました。国語・算数・社会・理科の4教科に挑戦しました。日ごろの学習の成果がどれだけ定着しているか、自分の課題は何かを知るための一つの調査です。結果は、個人の指導に役立てていきます。

12日…人権集会を行いました。ふれあい委員会による寸劇、学年代表による人権スローガンを発表し、言葉や思いやり、仲間などについて考えました。



15日…1年生は、松原保育園・榎川保育園・松陵幼稚園に行きました。小学校での様子を、元気よく上手に伝えていました。園児たちも、1年生になるのを心待ちにしているようです。



[1 月はこんな取組が…]

9日から2学期後半が再開します。給食は10日から始まり、書き初め大会を行います。その作品は18～19日に展示します。12日は6年生が薬物乱用防止教育の授業、16日は2年生が助産師さんに来てもらって、命の授業を受けます。18日は冬季オープンスクールを行い、3・4限目の授業を参観してもらいます。その他、新入生保護者説明会や園児1日体験入学などがあります。

[今月の詩] まど・みちおさんの詩です。

ゆきがふる
まど みちお

ふるふる ふるふる
ゆきがふる

ゆきを みあげて
たつ ぼくに

ふと きがつくと
ゆきが ふる

そらへ そらへと
のぼってく

せかいじゅうから
ただひとり

とつぜん ぼくは
のぼってく

ふるふる ふるふる
ゆきが ふる

ゆきを みあげて
たつ ぼくに

ふるふる ふるふる
ゆきが ふる

※この詩には軽快なリズム感があります。音読すると心地よい響きを感じます。声に出して読んでみてください。
本校では「家族読書」を推進しています。